



はなみずき

学校教育目標
「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

あいさつは、人の心の架け橋言葉

今週から計画代表委員会で取り組んでいる「あいさつカード」の紹介をします。

毎朝、登校中に上砂公園や正門から「おはよう」「おはようございます」と、大きな声であいさつが聞こえてきて、とてもうれしいです。あいさつは、人と人の心をつなぐ架け橋言葉です。

実は、先週6名の計画代表委員の子どもたちが「あいさつカード」をやります。と校長室に説明に来ました。話を聞いた私は驚きました。



なんと、計画代表委員会の話し合いの中で、あいさつを学校の外でもできるようにするための活動をしたいとの意見が出たそうです。

確かに、毎年、北小校区安全安心の会や学校評議員会の大人たちの会議で、子どもたちの地域でのあいさつについて話題に上がっていました。

計画代表委員の主な意見は、「地域の人へのあいさつができていない」ことや「おうちの人、地域の人、学校の友だち、先生に進んであいさつをする」ことなどが出たようです。

そして、「学校の外でもあいさつができるような北小」を目標に掲げたのです。

低学年用のあいさつカードと高学年用のあいさつカードを計画委員会が自作して、7月6日（金）まで全校児童で取り組みます。特に、4～6年生は ◎相手の目を見てあいさつができた ○聞こえる声であいさつができた △できなかった の三段階のふりかえりを毎日各自で行います。

この「あいさつカード」をやるという話を聞いて、先生たちも応援しようと相談しました。そして、「子どもたちと一緒に！」を合言葉に、担任は子どもたちの提出されたカードに見届けスタンプを押すことにしました。

すべての活動終了後に、計画代表委員会が一枚一枚のあいさつカードにコメントを入れて返すそうです。

以前、ラジオの放送で、「気持ちの良い日本語」の話がありました。ラジオ局で調べたところ、第一位は「ありがとう」、第二位は「さようなら」、第三位は「はい」という返事、第四位は「おはよう」だったそうです。

あいさつ言葉は、世界中どこでも、人と人の心をつなぐ「架け橋言葉」です。

「おはよう」も「ありがとう」も、誰が聞いても、誰が言っても、誰にされても気持ちの良い言葉です。「あいさつ言葉」について、ご家庭でもお子様と話をしてみてください。